

## 実務経験のある教員による科目の配置状況

教育内容	科目	単位	時間数	実務経験	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業をおこなうか)
基礎看護学	看護のみちしるべ	2	45	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、看護とは何か、看護師の役割は何かを探求し続けるための基本的な考え方について教授する。
	看護の基本技術	2	45	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、看護を実践するうえで基本となる、観察・コミュニケーション技術等の習得を支援する。
	生活を支える看護Ⅰ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、安全・安楽・自立に向けた環境調整、活動・休息の看護を教授する。
	生活を支える看護Ⅱ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、安全・安楽に清潔を整える技術と呼吸・循環を整える看護を教授する。
	生活を支える看護Ⅲ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、安全・安楽・自立に向けた食事・排泄の看護を教授する。
	診療を支える看護	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、安全・安楽に診療を支えるための看護を教授する。
	看護実践の思考過程Ⅰ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、症状を呈する患者に合わせた看護を行うための臨床判断の理解を支援する。
	看護実践の思考過程Ⅱ	1	15	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、科学的思考で看護を行うプロセスの理解を支援する。
	看護実践過程の基礎	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、健康課題を持つ患者の願いを捉える意味と変化する患者の状況に合わせた看護を考える過程を理解を支援する。
小計		11	285		
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	45	○	臨地において実務者である実習指導者や専任教員とともに看護を実践し、看護の役割を考えられるよう支援する。
	基礎看護学実習Ⅱ	2	90	○	臨地において実務者である実習指導者や専任教員とともに看護を実践し、患者の状況（変化）にあわせて必要な看護を考え実践できるよう支援する。
	小計		3	135	
合計		14	420		実務経験のある専任教員による科目は14単位、420時間